

# 戦争とめよう！ 安倍9条改憲NO！

# 2018年新春のつどい

安保関連法に反対するママの会の長尾詩子さんが主催者あいさつ。長尾さんは昨年の総選挙の結果にふれて「今、野党を動かしているのは一人ひとりの市民の声です」とのべ、「その力に確信を持つて、求める政治をつくるためにともにスター



「戦争とめよう！安倍9条改憲NO！2018年新春のつどい」が一月七日、東京都内で開かれました。会場は千三百人を超える参加者で熱氣いっぱい、三千万署名を必ず達成して安倍政権が狙う改憲発議を阻止しようと決意を固め合う集会となりました。主催は、安倍9条改憲NO！全国市民アクション実行委員会と戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会。



東京・北とぴあ・さくらホールで

トを切りましょう」と呼びかけました。そして

東京大学教授の石川健治  
さんが講演しました。

一年頭の記者会見で安倍首相は改憲への意欲を語り、今年の通常国会には自民党の改憲案を提出するといいました。私たちはまず、改憲発議をさせ

（参院議員）田中井應  
党の小池晃さん（参院議員）、立憲民主党の福山哲郎さん（幹事長）があ  
いさつ。  
青木さんは「立憲主義

必要があります。そのためには、三千万署名をどれだけの速さで達成するかが決定的に重要です」

俳優の松尾貴史さんは、ユーモアいっぱいの軽妙なミニトークで会場をわかせました。ついで

## 安倍九条改憲の危険性

石川健治さん（講演要旨）

石川健治さん（東京大  
学教授・憲法学）は「安  
倍九条改憲の危険性」と  
題してつぎのように語り  
ました。

条約を結ぶことを余儀なくされました。欧米諸国と対等な文明国とは認められなかつたのです。不平等条約の撤廃が明治政

安保関連法に反対するママの会の長尾詩子さん  
が主催者あいさつ。長尾さんは昨年の総選挙の結果にふれて「今、野党を

日本における憲法の歴史は、明治維新、開国にまさかのぼります。開国によって日本は不平等

近代的コンステイチューションの要件は、権利保障と権力分立です。この近代的な意味でのコンス

追認するような九条への自衛隊明記は反対です」と語りました。小池さんは、「九条改憲の発議を許さない一点で力を合わせる年にしよう。安倍首相は、改憲は自民党的歴史的使命だと、ならばそれを阻止するのが市民と野党的歴史的使命です」と力をこめました。

リレートークに入り、東京、茨城、埼玉の各地からの代表が次々に登壇、横須賀市民九条の会の岸牧子さんは次のように発言しました。「私たちは、自衛官を戦場に送らない

の訴えを中心に毎週土曜四時から京急線横須賀中央駅のデッキでスタンディングに取り組み、昨日で百二十九回になりました。最初私たちの前を硬い表情で通り過ぎて行った自衛官が、この二年間で目礼しながら通るようになりました。雨の中、真っ直ぐに近づいてきた二人の私服の青年が自衛官ですと名乗り、ありがとうございますとあいさつしていくということもありました。こうした積み重ねの上に三千万署名に取り組んでいます」

総がかり行動実行委員会共同代表の福山真劫さんが行動提起、三千万署名の運動を広げること、本格的な野党共闘の実現に向けて本気で取り組むことを呼びかけました。